μXStermM1.10	2003/09/01

μＸＳ０３０ドライバ用

パラメータ設定用マネージャ

μＸＳｔｅｒｍ

取扱説明書

概要

本ソフトはパソコンを用いてμＸＳ０３０ドライバのパラメータを設定するためのツールで
マイクロソフトＷｉｎｄｏｗｓ上で動作します

1. 動作環境

２－１．対応ＯＳ

Ｗｉｎｄｏｗｓ９５／９８／Ｍｅ／ＮＴ／２０００／ＸＰ

２－２．使用ポート

ＲＳ３２３Ｃ　ＣＯＭポート

２－３．通信条件

ボーレート　：　９６００ＢＰＳ
データ長　　：　８ビット
ストップ　　：　１ビット
パリティ　　：　なし
フロー制御　：　なし

2. インストール

フロッピーディスク（２枚）又はＣＤ－ＲＯＭ内のＳＥＴＵＰ．ＥＸＥを実効して下さい。
旧バージョンの**ｕＸＳｔｅｒｍ**がインストールされている場合はコントロールパネルの
「アプリケーションの追加と削除」で削除してからインストールしてください。

3. 操作方法

操作１）接続と電源の立ち上げ

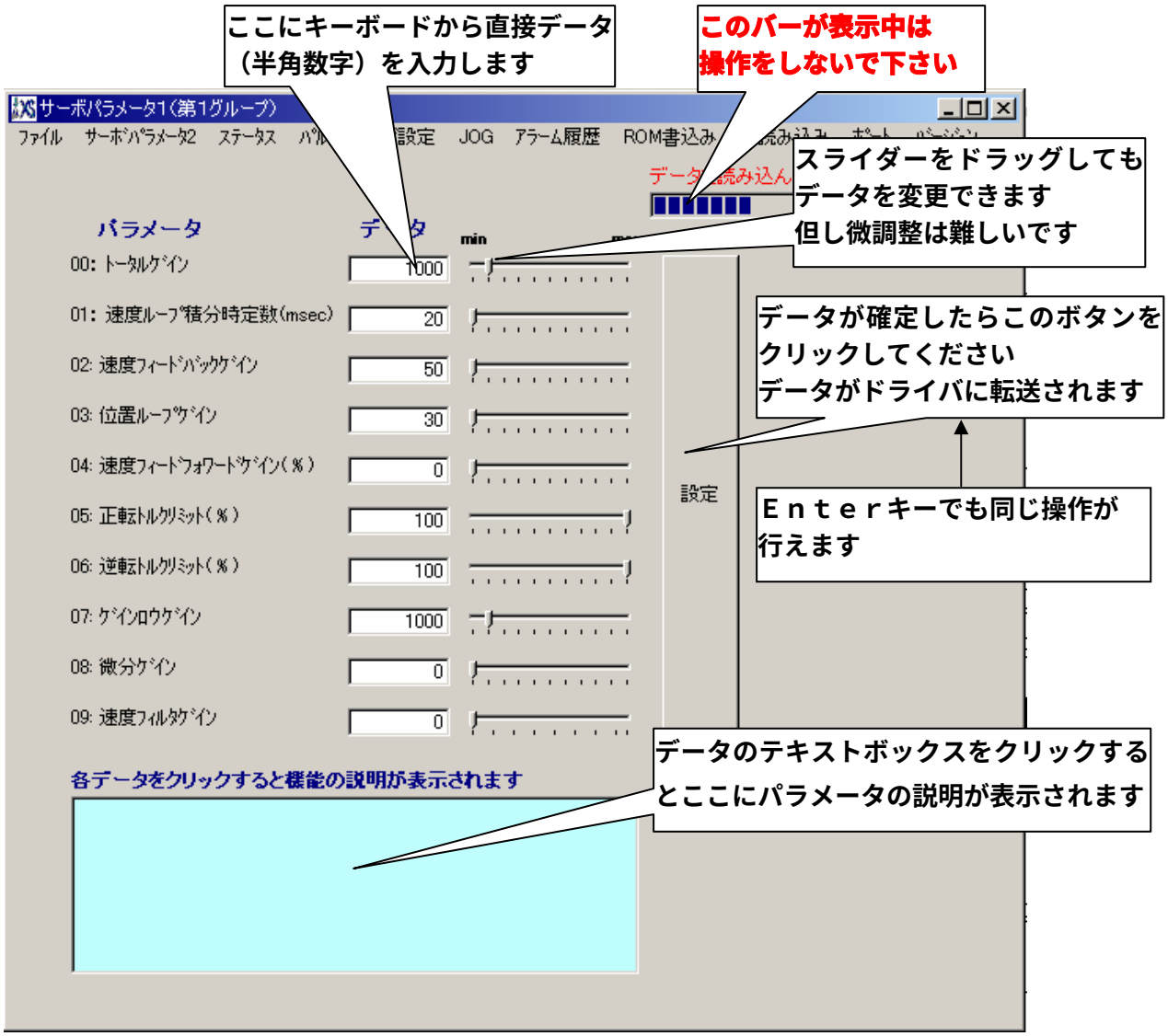
ＲＳ２３２Ｃケーブル（Ｃ００９００１）を接続し、ドライバの電源を立ち上げて下さい

操作２）プログラムの起動

“ｕＸＳｔｅｒｍ”を起動してください
プログラムの起動時にドライバからパラメータデータを読み込みますので必ずドライバの電源を立ち上げてからプログラムを起動してください
操作中にドライバの電源を切った場合はパラメータの再読み込みをしてください。

操作３）メイン画面（サーボパラメータ１）の起動

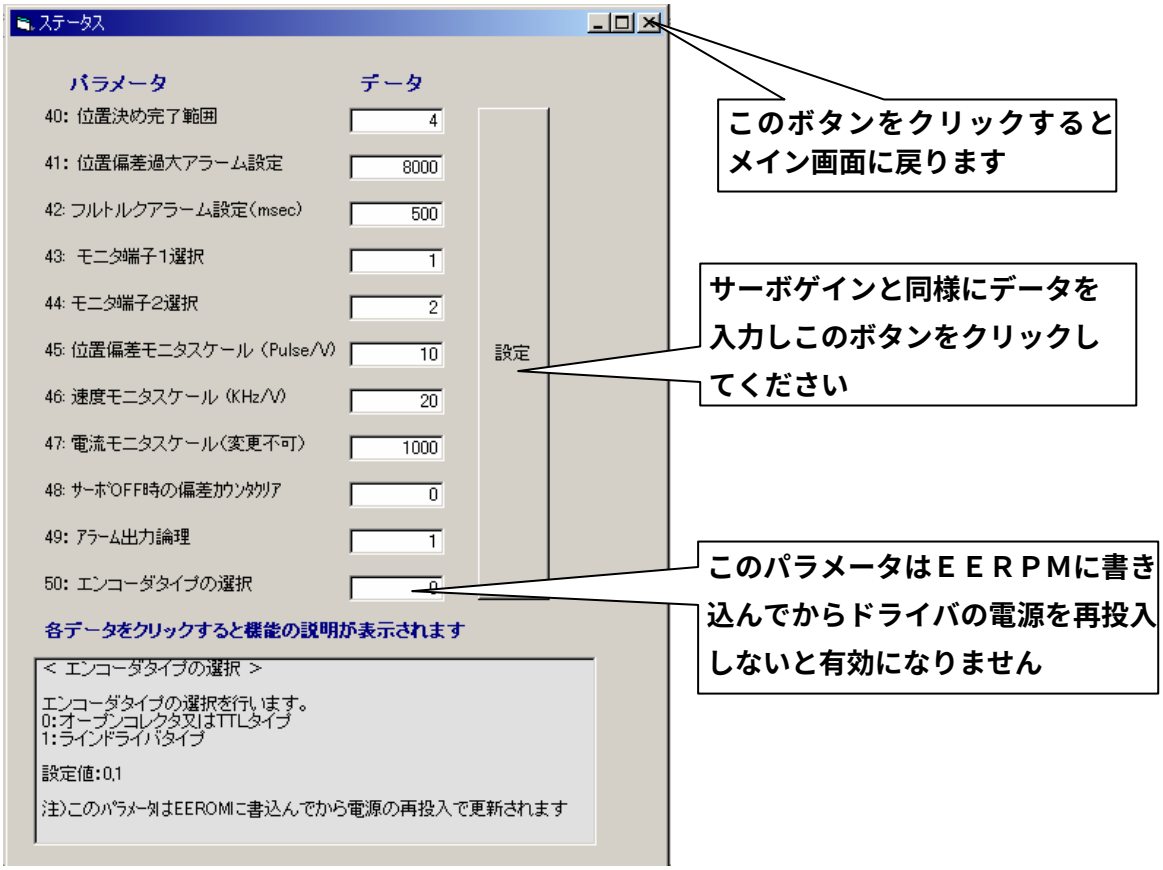
最初に下図のメイン画面が表示されます。サーボゲインを変更する場合は下図の操作方法で変更してください。



サーボパラメータ２の画面も上記と同じになります。

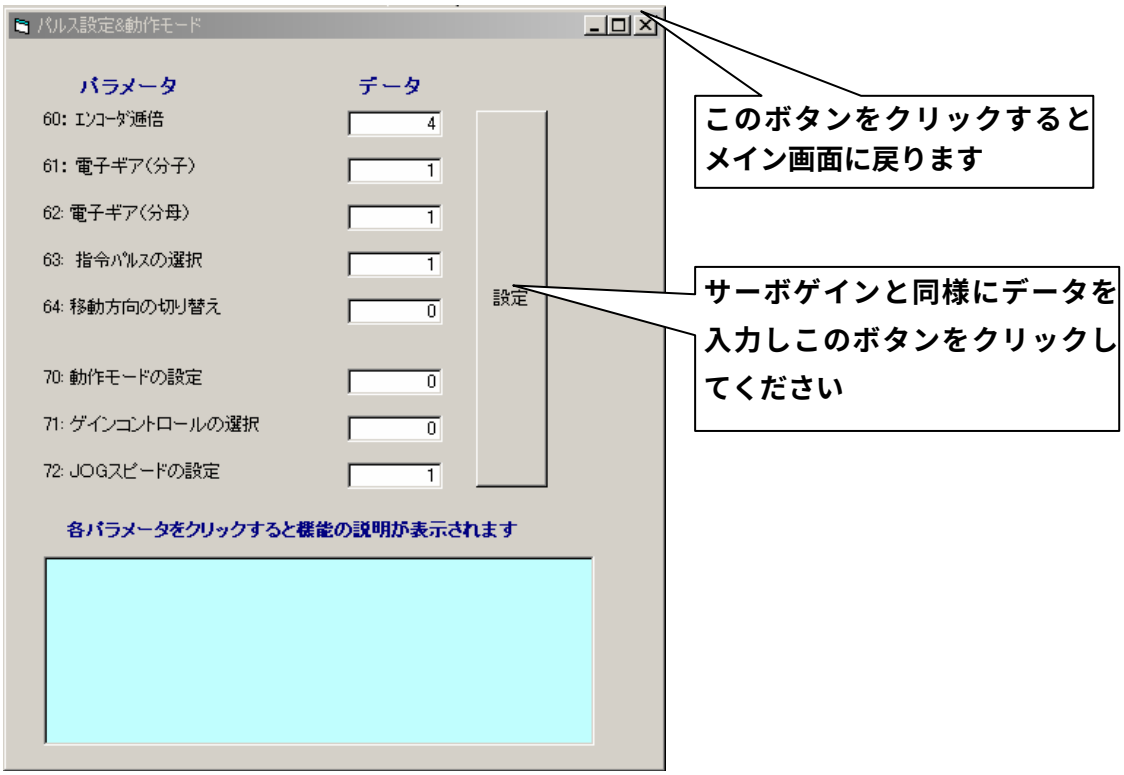
操作４）各ステータスの変更

メイン画面メニューの「ステータス」をクリックしてください



操作５）パルス及びモード設定の変更

メイン画面メニューの「パルス＆モード設定」をクリックしてください。
パルス設定内のパラメータは全てＥＥＰＲＯＭに書き込んでからドライバの電源を再投入しないと有効になりません

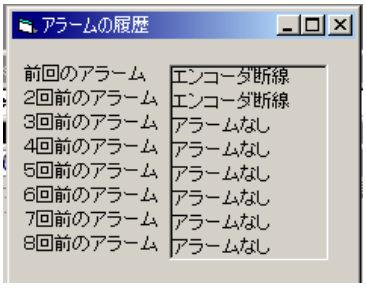


操作６）ＪＯＧモード

システムの立ち上げ時に指令パルスを入力せずにモータを回して動作確認することが出来ます
このときのモータの回転数は「パルス＆モード設定」のＪＯＧスピードの設定で変更して下さい

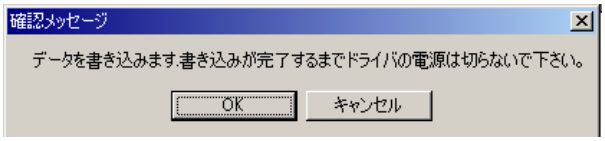
操作７）アラームの履歴

過去８回までの発生したアラームを見ることができます。



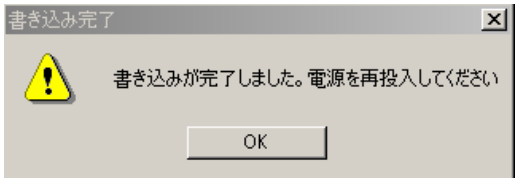
操作８）ＥＥＰＲＯＭの書き込み

パラメータを変更してもドライバの電源を切ると元に戻ってしまいます。そのためにドライバ内のＥＥＰＲＯＭにデータを書き込みます
メイン画面メニューの「ＲＯＭ書き込み」をクリックしてください。
下図の画面で「ＯＫ」をクリックすれば書き込みが開始します。



ドライバ内７セグＬＥＤが下図のように順番に表示され、「Ｐ」が点滅したら書き込み完了です。

画面に下図の表示されたら電源を再投入してください。



操作９）データの保存

メイン画面メニューの「ファイル」→「保存」をクリックしてください。
保存するドライブとフォルダを指定しファイル名を書き込んで「保存」をクリックしてください

操作１０）データの読み込み

前記操作で保存されたデータを読み込んでドライバに転送することができます
メイン画面メニューの「ファイル」→「開く」をクリックしください。
読み込むドライブとフォルダを指定しファイル名をクリックし「読み込む」をクリックしてください。パラメータデータが読み込まれドライバに転送されます。

操作１１）プログラムバージョンの確認

メイン画面メニューの「バージョン」をクリックしてください。
現在のμＸＳｔｅｒｍとドライバのソフトバージョンが表示されます

メモ

株式会社 ハイピーテック

〒359-0021　埼玉県所沢市東所沢1-27-23
TEL 042-951-5381　FAX 042-951-5383
URL:http://www.hptec.co.jp/
e-mail : support@hptec.co.jp